



質的データ分析ソフト について調べる



★ 目次

1. インTRODクシヨN
2. 学習用資料
3. 検索キーワード

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント (TA) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「質的データ分析ソフト」とは？

- 「質的データ分析ソフト(QDAS: Qualitative Data Analysis Software)」とは、質的データ(インタビューデータ、新聞記事や雑誌記事、画像や映像など)の整理・分析を補助してくれるソフトウェアである。
- 有名なパッケージとして、MAXQDA、NVivo、ATLAS.ti の3つがある。
- 社会学や人類学といった分野でよく用いられている。
- 質的データは、一昔前までは手作業で整理・分析されていた。典型的な方法は、プリントアウトされた数十～数百ページのデータにメモを書き込んだり、切ったり貼ったり、データの種類ごとに分類して別々のファイルに綴じて管理したり、という原始的なものだった。
- 質的データ分析ソフトによって、こうした作業がPC上で効率的に行えるようになった。具体的には、紙が節約できるのみならず、書いたメモを修正したり、いちど分類したものを再度分類し直したりということが簡単にできるようになった。また、複数人での共同作業や編集も容易になった。

1-2. 学習するにあたってのポイント

- 卒業論文などでのデータ分析で、質的データ分析ソフトを使ってみようか悩んでいる人は、まずはMAXQDA、NVivo、ATLAS.ti それぞれの開発会社のウェブサイトをざっと見るとよい。商品の紹介がわかりやすく簡潔にされているので、使い方のマニュアルやテキスト類を読む前になんとなくイメージをつかむことができる。なお、どのソフトもおおむね同様の機能を有する。
 - MAXQDA のトップページ(<http://www.maxqda.com/lang/jp>)
 - NVivo のトップページ(<http://www.nvivo.jp/>)
 - ATLAS.ti のトップページ(<http://atlasti.com/ja/>)

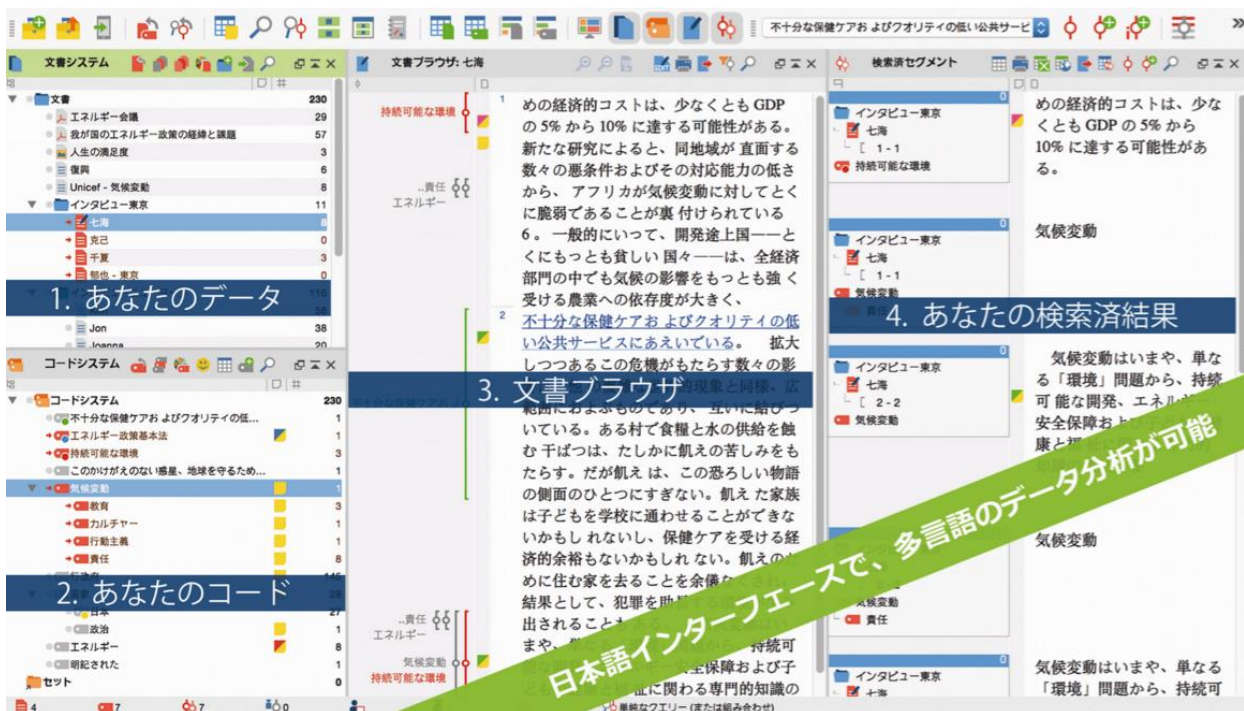


図 1: MAXQDA の紹介ページ(<http://www.maxqda.com/lang/jp>)の一部

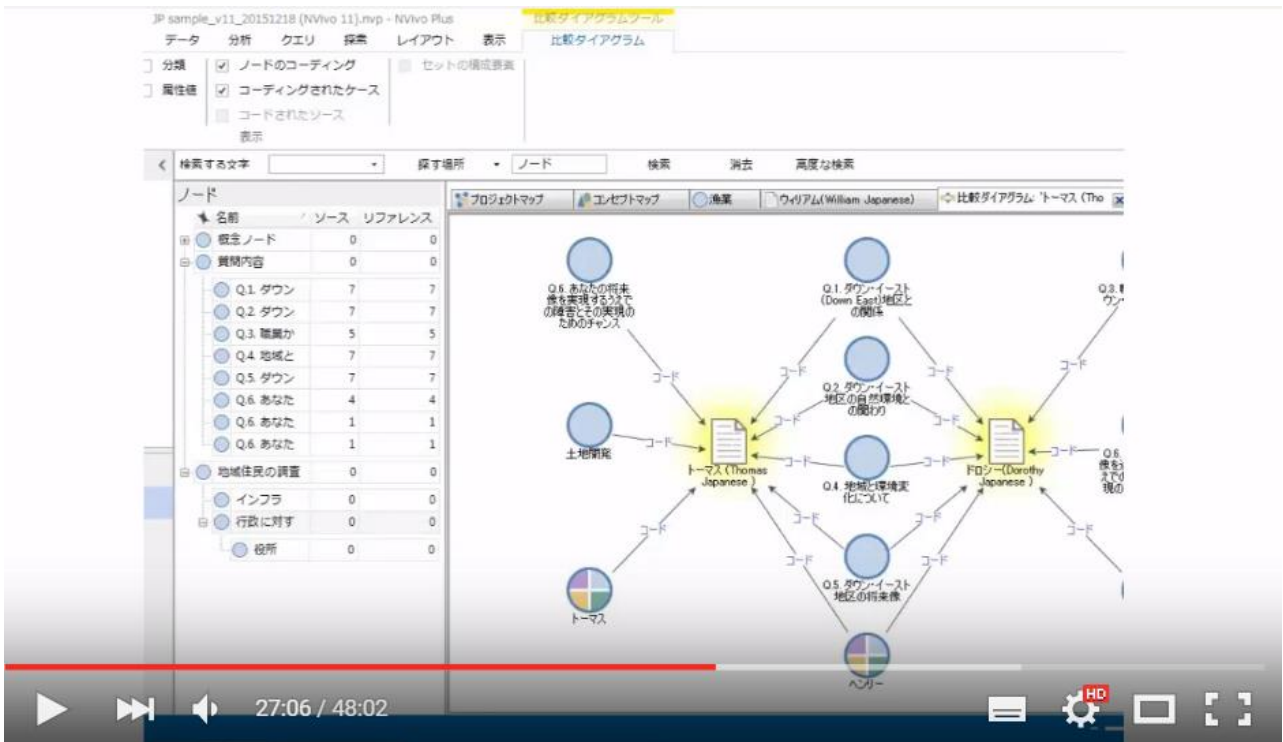


図 2: NVivo の紹介ページ <https://www.youtube.com/watch?v=eZcQO8kD-fw&feature=youtu.be> (の一部)

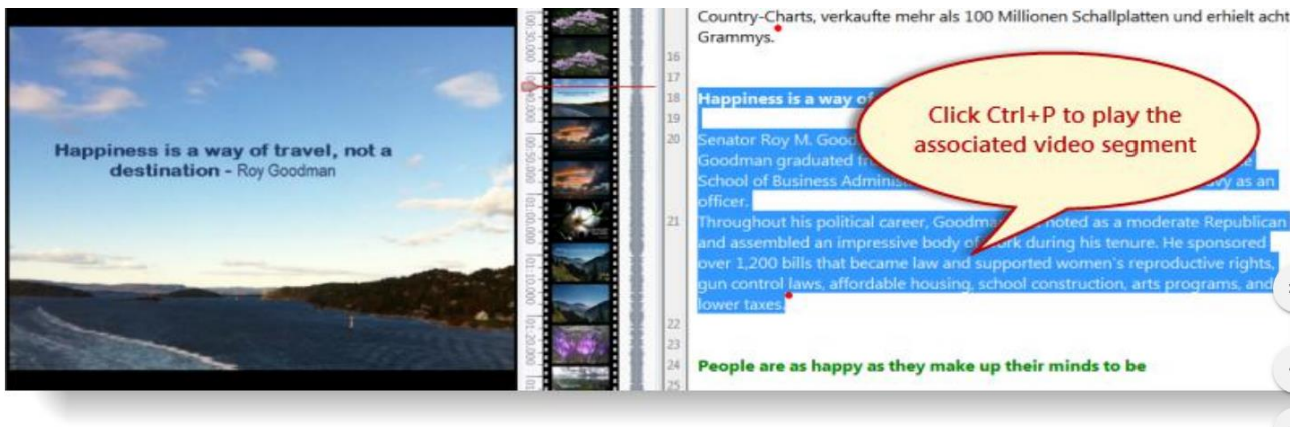


図 3: ATLAS.ti の紹介ページ

(http://downloads.atlasti.com/quicktour/QuickTour_a7_en.pdf?_ga=1.80872479.962213823.1455543199)

の一部

2. 学習用資料

2-1. 最初に読むべき資料: 教科書・古典

■ [実践質的データ分析入門:QDA ソフトを活用する/佐藤郁哉](#) 【書誌 ID=2004089105】

- 基本的な事柄はこの一冊で知ることができる。質的データ分析とは何なのか、どのように分析が行われるのかについて、MAXQDA を用いた分析例が示されつつ、丁寧に解説されている。
- MAXQDA は、おそらく、日本語での詳細な解説がある唯一の質的データ分析ソフトである。

2-2. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

- [Qualitative data analysis with NVivo / Pat Bazeley, Kristi Jackson](#) 【書誌 ID=2004358213】
総合図-A棟3/4階 学習図書 361.9/BAZ
- [Qualitative data analysis with ATLAS.ti / Susanne Friese](#) 【書誌 ID=2004221318】

3. 検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: QDAS (Qualitative Data Analysis Software)、CAQDAS (Computer Assisted Qualitative Data Analysis Software)、質的データ分析
- ◆ 関連キーワード: MAXQDA、NVivo、ATLAS.ti

4. 質的データ分析ソフトの価格などについて

質的データ分析ソフトは、タダで使えるとは限らない。大阪大学では、人間科学研究科の社会環境学講座の一部の研究室の PC にはインストールされているが(2016年2月現在)、そのような研究室は少ないだろう。関心のある人は、ひとまず、各商品のページから、無料のトライアル・バージョンを試してみることをお勧めする。気に入った人は、学生価格で購入できるので、購入することを視野に入れてもよいかもしれない(日本円にして1万円前後。)あるいは、研究室の皆が使えるようになるべきだ、と考えるのであれば、いちど指導教官に、研究室の PC(複数台であれば割引が適用される)への導入を検討してもらうよう、打診してもよいかもしれない。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

